

## 学校便り

第313号  
平成25年6月1日練馬区立光が丘第八小学校  
校長 鈴木 隆志

## かわいそうな名前

校長 鈴木 隆志

八小の校庭の花壇には、ミントがたくさん生えています。ミントの葉はとてもよい香りがします。野道を歩いていると、道端にキュウリグサという植物を見つけることがあります。葉や茎を揉むと、キュウリの匂いがするので、名付けられました。一方で、葉や茎を揉むと、とても臭い匂いがする植物もあります。その植物に付けられた名前は「ヘクソカズラ」です。何ともかわいそうな名前です。植物に心があったら、こんな名前では呼ばないでほしいと思っていますことでしょう。



トバナ（灸花）」は、花の中心部の赤いところを灸（やいと：お灸のこと）をすえた跡に見立てたもの、あるいはこの花を逆さにして人の肌に伏せると灸をすえているように見えることから付けられたと言われていています。もう一つの別名のサオトメバナ（早乙女花）を普及させたいとの声を聞いたこともあります。ほとんど普及はしていません。

光っ子たちについて考えます。言葉は時としてトゲとなって心に突き刺さります。人から言われて嫌だと思ふ言葉を言われている子はいないだろうか。人が嫌がる言葉を発する子はいないだろうか。八小には「子供同士の呼び捨てをさせない」というルールがあります。6年生の様子を見ていても、男の子も女の子も、お互いに「〇〇ちゃん」、「〇〇さん」、「〇〇くん」で呼び合っています。呼び捨てにしている子はいません。呼び捨てにすると、とげとげしくなりますが、呼び捨てにしないと、ふわふわした気持ちになります。言葉には、「とげとげ言葉」と「ふわふわ言葉」があるのです。

「とげとげ言葉」は、ばか、うざい、きもい、死ね、きえろ、あっちへ行け、うるさい、早くしろなど、人間関係を悪くするような言葉です。「ふわふわ言葉」は、だいじょうぶ？、またね、ナイス、すごいね、ありがとう、一緒に遊ぼう、大変だったね、気にしなくてもいいよ、ドンマイ、上手だったよ、練習すればできるよ、もう安心して、泣かないで、気をつけてね、などの心温まる言葉です。言葉づかいとは、心づかい、気づかいでもあります。光っ子たちの間で、「とげとげ言葉」が消えて「ふわふわ言葉」が溢れるようにしていきたいと願っています。

ちゅんちゅんぽ

ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで かななおり

ひとつのことばで 頭が下がり

ひとつのことばで 心がいたむ

ひとつのことばで 楽しく笑い

ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの心をもって

きれいなことばは きれいな心

やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に

ひとつのことばを 美しく

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの力をもって